

「ヤマト・天理の歴史文化をめぐるプロジェクト」 プロジェクト ご案内



日本の古代文化発祥の地、ヤマト・天理の歴史文化の魅力を発信！
天理大学附属天理参考館が天理市と共働して文化体験イベントを開催します。

プロジェクト1 ヤマト・天理をめぐる歴史と文化の体験イベント

「駅前出前博物館—ミニトーク&ワークショップ—」全5回 **8月~12月**

天理参考館の学芸員や天理市ボランティアガイドが「山の辺の道」をはじめ、ヤマト・天理の歴史文化を紹介するミニトーク（30分）
& ヤマト・天理から世界へ、歴史や文化が体験できる、子どもと大人が楽しめるワークショップ（90分）

会場：天理駅前広場コフブン南団体待合所
開催時間：13:30~15:30

- ミニトーク 13:30~14:00 / 参加自由 & 参加無料
- ワークショップ 14:00~15:30 / 参加(材料)費 200円
ただし第3回は無料 随時受付で材料がなくなり次第終了

第1回 8月12日(日)

ミニトーク パーチャル山の辺の道ガイド

天理市山の辺の道ボランティアガイドの会
「山の辺の道」(天理市観光PRビデオ)の映像を見ながら、ボランティアガイドさんがオススメの場所を案内してくれます。行ったつもりでハイキング気分を!行楽シーズンの見どころ情報としても活用できます。



ワークショップ たぬきの糸車と糸つむぎ

梅田正之・梅田 晴(「H.A.M.A. 木綿庵」)、中谷哲二(天理参考館)
畑で実った「わた」(綿)が糸になるまでを実演します。小学校の教科書でおなじみ、「たぬきの糸車」に登場する糸車を回したり、簡単な道具で糸をつむいだりしながら、不思議な「わた」の世界をお楽しみください。



第2回 9月23日(日・祝)

ミニトーク 古代の装身具

藤原郁代(天理参考館)
日本人はいつからアクセサリーを使っていたの?男の人でも女の人も使っていた?意外なことに、日本のアクセサリーは、世界でも珍しい歴史を持っているのです。



ワークショップ 古代の首飾りを作ろう!

藤原郁代(天理参考館)
縄文時代に使われた鹿の角の首飾りと、古墳時代に使われた石の玉の首飾りをまねて作りましょう。なんと本物のニホンジカの角を使います!



第3回 10月14日(日)

ミニトーク 遣唐使の見た古代の服装

青木智史(天理参考館)
7~9世紀に日本の朝廷から中国・唐に派遣された遣唐使は、唐の文化や制度の輸入を目的としていました。唐では様々な新しい装いが生み出され、それは彼らが大いに驚かせたことでしょう。考古美術資料を例にして魅力的な唐時代の服装について紹介します。



ワークショップ 世界の民族衣装を着てみよう!【小学生向け】

宮森伯枝(天理参考館) ※参加無料
民族衣装はその国、地域の文化や気候が色濃く出ています。アジアを中心とした世界各地の民族衣装を身にまとい、異文化に触れてみよう。
※衣装はSサイズです。Mサイズ(大人用)も数点あります。



第4回 11月11日(日)

ミニトーク 近鉄天理線の歴史

乾 誠二(天理参考館)
大正4年に開業した近鉄天理線は、もともと天理軽便鉄道という名前で、天理から法隆寺まで走っていました。古いキップや観光案内等から、103年の歩みをたどります。



ワークショップ 硬券キップを切ってみよう!

乾 誠二(天理参考館)、田中芳英
昔懐かしい硬券キップに日付を入れたり、ハサミを入れたりして、出札係(キップの販売係)・改札係(キップの確認係)の体験をしてみよう。



第5回 12月9日(日)

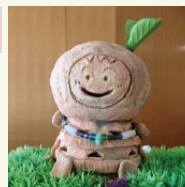
ミニトーク 古代の祈り—土で作られた祈りの道具—

日野 宏(天理参考館)
縄文時代の土偶(どくう)は、当時の人々がまつりに用いた土の人形です。人々はこれらにどのような願いを込めたのでしょうか。また、古墳に立て並べられた埴輪(はにわ)についてもお話します。



ワークショップ はにわと土の人形を作ってみよう!

日野 宏(天理参考館)
縄文時代の土偶や古墳時代の埴輪を粘土で作ります。お手本となる土偶や埴輪の写真を用意しています。あるいは自由な発想で、土の人形をつくっていただいても結構です。



「ヤマト・天理の歴史文化をめぐる」プロジェクト

プロジェクト2 ヤマトをめぐる文化遺産を学ぶ 連続講座「ヤマトの歴史絵巻」 全6回



9月～3月

講演：13:30～15:00
会場：天理参考館研修室
各回定員100名〈参加無料〉：当日先着順
※12:00より1階受付にて入場整理券(お一人につき1枚)を配布します。
※受付・開場13:00

第1回 9月7日(金)

「描かれた喪葬船」

石田大輔 (天理市教育委員会文化財課係長)

第2回 10月19日(金)

「銅鏡の秘めた謎」

小山田宏一 (奈良大学教授)

第3回 11月9日(金)

「馬匹文化と天理の埴輪」

野島 稔 (四條畷市立歴史民俗資料館館長)

第4回 12月14日(金)

「ワニ氏のお膝元—橿本の弥生時代から古墳時代の遺跡—」

池田保信 (埋蔵文化財天理教調査団主任)

第5回 1月11日(金)

「上ツ道の成立を巡って」

北口聡人 (天理市教育委員会文化財課主査)

第6回 3月1日(金)

「内山永久寺はなぜなくなったのか」

幡鎌一弘 (天理大学文学部歴史文化学学科教授)



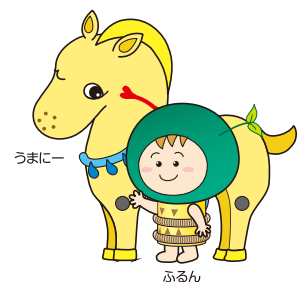
内山永久寺跡本堂池

「ヤマト・天理の歴史文化をめぐる」実行委員会

構成団体：天理市教育委員会、天理市環境経済部、天理市観光協会、
天理大学文学部歴史文化学学科、天理大学附属天理参考館 (中核館)

「ヤマト・天理の歴史文化をめぐる」実行委員会事務局

天理大学附属天理参考館 〒632-8540 奈良県天理市守目堂町 250 番地
TEL:0743-63-8414 FAX:0743-63-7721
URL <http://www.sankokan.jp/>



天理大学附属 天理参考館 展览会

第82回企画展 中国の風俗人形 -近代以降の土人形と黄楊人形-
会期：平成30年 7月4日(水)～9月3日(月)

第83回企画展 華麗なるササン王朝 -正倉院宝物の源流-
会期：平成30年 9月26日(水)～11月26日(月)

2019年新春展 吉祥づくし明治の引札 -商家の広告印刷物にみる福德円満のかたち-
会期：平成31年 1月5日(土)～3月4日(月)